

**家屋を取り壊したとき  
の手続きについて**

▼固定資産税の課税について  
・固定資産税は、毎年1月1日（賦課期日）現在に存在している固定資産を課税対象とし、その年の4月から始まる年度分について課税されます。

▼未登記家屋を取り壊したとき  
・未登記家屋を取り壊したときは、「家屋滅失届」（住民課窓口にあります。）を役場住民課税務係まで提出してください。  
※未登記家屋とは：法務局で登記をされていない家屋

▼登記済家屋を取り壊したとき  
・登記済家屋を取り壊したときは、法務局で「滅失登記」をしてください。ただし、滅失登記を行わないとき、または滅失登記の手続きが家屋を取り壊した翌年以降になるときは、「家屋滅失届」を役場住民課税務係まで提出してください。

どちらの場合も届出がなければ、

取り壊した家屋に課税されることになり、ご注意ください。

▼家屋を取り壊す予定の方へ  
・家屋の取り壊しの届出をする際は、取り壊し日を確認できる書類（解体業者が発行する証明書、工事費用の領収書、取り壊し工事の状況を撮影した日付入りの写真など）のご用意をお願いします。

■住民課税務係 ☎2-3133

**税務係から納期のお知らせ**

6月は「道村民税の第1期」の納期です。納期内納付にご協力をお願いいたします。

■住民課税務係 ☎2-3133

**「停電情報」の新たな配信・応答サービス開始**

停電情報を入力しづらい等の不便を緩和するため、北海道電力ネットワーク(株)より新たな「停電情報」の配信・応答サービスを開始しました。

▼LINE公式アカウントによるメッセージ配信サービス  
LINE公式アカウントを活用し、あらかじめ登録いただいた地域で停電が発生・解消した際に、当該情報を自動的にお知らせします。

これにより、北海道電力ネットワークホームページや電話に加え、LINEで停電情報をご覧いただけます。

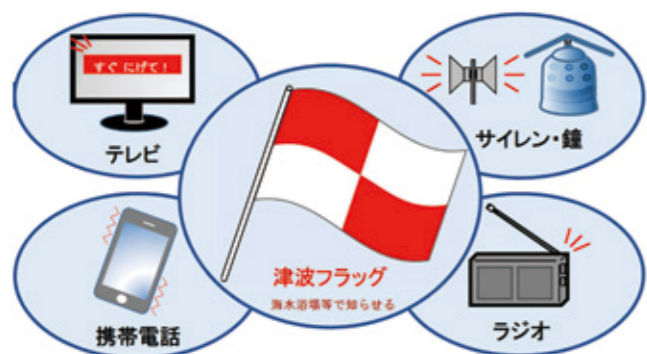
登録・利用は無料ですので、停電の発生に備えて、LINE公式アカウント「ほくでんネットワーク」からぜひ、ご登録ください。

▼AIによる停電情報自動応答サービス  
AI（音声認識機能）を活用した「停電情報自動応答システム」

**新たな津波警報等の伝達「津波フラッグ」**

気象庁から発表された津波警報等（大津波警報・津波警報・津波注意報）は、テレビやラジオ、サイレン・鐘、携帯電話等、様々な手段で伝達されますが、令和2年夏から「津波フラッグ」による伝達方法が加わりました。

「津波フラッグ」は、「赤と白の格子模様の旗」で、海水浴客やマリンスポーツ・海釣りなどを行う人がいる海水浴場等の海岸で用い



津波フラッグイメージ

により、電話口で発話された住所に対する停電情報を自動音声でお答えします。

広範囲での停電発生時など、お問い合わせが集中した際には、電話が繋がりにくくご不便をおかけしてしまう場合がありますが、本サービスの開始により、お待ちいただくことなく停電情報をご確認いただけるように、コンタクトセンターの「つながりやすさ」が向上します。

【専用ダイヤル】  
0120-165-597  
(通話無料・24時間受付)

■北海道電力(株)広報部広報企画グループ  
☎011-251-4076

られ、聴覚障害がある方や、波音や風音が聞き取りにくい遊泳の方などにも津波警報等の発表を視覚的にお知らせするものです。海水浴場や海岸付近で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難してください。

■稚内地方気象台  
☎0162-23-2679

**あなたの無線機器は  
大丈夫？**

インターネット等で販売している外国規格の無線機は、電波の基準を満たさないため、国内では使用できません。使用すると、テレビや重要な無線通信に妨害を与えるおそれがあります。

無線機を購入の際には必ず、「技術基準適合証明等のマーク」の確認をお願いします。

電波に関する困りごとやご相談は、お問い合わせください。

■総務省北海道総合通信局  
☎011-737-0099

猿払村図書室  
**おすすめ本のご紹介**

上段：一般図書 ▶農村環境改善センター ▶教育委員会 開館日時 ④⑤⑥⑦  
下段：児童図書 ☎2-3695 ☎2-3011 12時00分～18時00分

**白鳥とコウモリ**

東野圭吾 著  
遺体で発見された善良な弁護士。一人の男が殺害を自供し事件は解決のはずだった。「すべて、私がやりました。すべての事件の犯人は私です」2017年東京、1984年愛知を繋ぐ、ある男の告白、その絶望、そして希望。「罪と罰の問題はとて難しくて、簡単に答えを出せるものじゃない」私たちは未知なる迷宮に引き込まれる。

**ドキュメント**

湊かなえ 著  
中学時代に陸上で夢を追い求めていた町田圭祐は、交通事故に遭い高校では放送部に入ることに。三年生引退後、圭祐は同期たちとテレビドキュメント部門の題材として陸上部の活動を撮影していく。するとドローン動画の中に、煙草を持って部屋から出てくる親友・良太の姿が映りこんでしまう。圭祐が事件解決のため奔走すると、計画を企てた意外な人物が明らかになって…。

**悪の芽**

眞井徳郎 著  
銀行員の安達は、世間を震撼させた事件の犯人が同級生だったことに気づいて絶句する。小学生の頃、小さな見栄から彼がいじめに遭うきっかけを作ってしまった。その後、普通の人生から道を踏み外した彼は、大量殺人犯となり、自らに火を点け、動機不明のまま死んでいった。絶望の果てに、人間は何を見るのか。魂の叫びと祈りが胸に刺さる、長編ミステリの傑作！

**あるヘラジカの物語**

鈴木まもる 絵・文  
群れを守るオスのヘラジカと、そこに近づく別のオス。巨大な体と角をぶつけあい、激しい戦いが始まった。星野道夫が遺した1枚の写真から生まれた大自然で暮らす動物たちの壮絶なドラマと生命のつながりを描いた絵本。

**みつばちと少年**

村上しいこ 著  
クラスの中でうまくやっていたくない雅也は、中1の夏休みを利用して、養蜂場を営むおじさんのいる北海道へ行くことに。寝泊まりすることになった「北の太陽」では、さまざまな事情を抱えた子どもたちが暮らしていた。養蜂の手伝いや、イカめしコンテストへの出場など、自然豊かな北海道でのひと夏をつうじて、雅也の心に変化がおこる。

**あおぞらこども食堂はじまります！**

いとうみく 作  
ハルさんはお弁当を持って公園に出かけると、となりのベンチに座っていた女の子がパンをくれました。ふたりは友だちになり、ハルさんはひとりでの食事をしていることが多いことを知ります。そこでハルさんが考えたのは、こども食堂を開くこと。町のみんなも手伝いに来てくれて…。心あたたまるこども食堂の物語。